

令和6年度 各施設の 事業報告

西陣病院

事業総括

令和6年度は、収益は前年を上回ったものの経費増で経営は依然厳しい状況です。医師の働き方改革の導入で一部医師の時間外労働超過が課題となる一方、外国人看護アシスタントの雇用や電子カルテの更新により業務負担を軽減。無料低額診療実績については、全患者の10.7%にあたる24,280人に対し実施しました。



重点項目

- 1 近隣・かかりつけ・開業医・救急由来の患者さんの受入を徹底
- 2 電子カルテ更新及び外国人看護アシスタント雇用によるスタッフの業務負担軽減
- 3 医師の働き方改革導入に伴う、一部基準の時間外労働超過

〒602-8319 京都市上京区五辻通六軒町西入溝前町1035
TEL: (075) 461-8800 FAX: (075) 461-5514
URL: <https://www.nishijinhp.com>
E-mail: nisijin@nisijin.net

京都桂病院

事業総括

経営面では前半で苦戦し、さまざまな改善計画を遂行しました。後半で新入院数増加などの改善点もみられましたが、年間では黒字化しませんでした。医師の働き方改革が本格始動しました。一部の病棟でセル看護方式を開始しました。ハイブリッド手術室の整備が完了し、経皮的心臓弁手術(TAVI)の実施にむけて準備中です。



重点項目

- 1 救急科医師数が増加し救急部門が強化。
- 2 心臓血管内科・外科で医師の充実とともに症例数が増加。
- 3 脊椎脊髄外科が新設。
- 4 全身麻酔件数が昨年よりも約10%アップ。
- 5 消化器内科では積極的な地域連携で新入院数増加。

〒615-8256 京都市西京区山田平尾町17番地
TEL: (075) 391-5811 FAX: (075) 381-4224
URL: <https://www.katsura.com>
E-mail: info@katsura.com

にしがも透析クリニック

事業総括

事業計画に基づき「安定した維持透析と自立支援」に努め、高齢化対応、バスキューラーアクセス管理、フットケア等を実施しました。その結果、年間透析5,362回、外来患者月平均35名、利用率87.5%を達成できました。今後も患者数40名、月延べ透析回数450回を目標に、にしがも舟山庵・西陣病院と連携し、地域医療に貢献します。



重点項目

- 1 新規受け入れ増対策と透析回数減少、入院症例増加等への対応
- 2 関係機関(西陣病院、にしがも舟山庵等)、専門医との連携
- 3 高齢透析患者や糖尿病腎症患者の病状安定に向けた支援
- 4 災害対策、物価上昇への対応
- 5 職員の健康管理

〒603-8471 京都市北区大宮西山ノ前町3番地の1
TEL: (075) 495-1131 FAX: (075) 495-1144
URL: <https://nishigamo-hdc.jp/>
E-mail: nishigamo-hdc@room.ocn.ne.jp

京都からすま病院

事業総括

2024年の診療報酬改定は当院においても病棟再編を迫る厳しい改定であったが新設の地域包括医療病棟に7月から移行したことで、日当りは約20%上がり収益増につながった。看護師・看護補助者の慢性的不足は続いており外国人実習生を2名雇用したが、派遣・紹介に頼らざるを得ない状況は費用の面で大きなマイナス要因となっている。



重点項目

- 1 健全経営：病床稼働の向上、外来患者の増加、救急応需体制等の改善に数値目標を掲げて取り組み、一定の成果があった。
- 2 選ばれる病院：患者・地域・職員に選ばれる病院を目指して様々な取り組みを行ったが、コミュニケーションに課題を残した。
- 3 医療の質の向上：TQM活動、チーム医療の推進、EBMの実践他、継続して取組んでおり質向上につながっている。

〒603-8142 京都市北区小山上総町14
TEL: (075) 491-8559 FAX: (075) 492-4304
URL: <https://www.karasuma-hp.com>
E-mail: info@karasuma-hp.com

巻頭言

ICからSDMへ Informed Consent Shared Decision Making



社会福祉法人
京都社会事業財団
評議員

齋藤 信雄

(洛和会東寺南病院 名誉院長)

最近、セカンドオピニオンというほどの大層なものではないが、大きな手術を受けることになった高齢者から相談されることが多く高年齢者から最近経験したSDMの事例を披露する。ハイリスクの84歳の進行肺がんである。BCS(緩和治療)を推奨された。持参した説明資料を見て、切除可能とは思わなかった。抗うリスクの方が大きいと思った。長時間、繰り返し話を聞いた。揺れる心の根底に、可能性があるのなら手術を希望していることが分かった。何度も念を押した。それなら、はっきり言いなさい。その後、外科へ紹介され、術前の説明書きを持参して見せてくれた。手書きの図を用いて懇切なものであった。予後に不安はあるが、手術を終え無事に退院に漕ぎつけた。

もう一人はICの例。80歳女性で不快な自覚症状が続くので疑い病名で紹介状を持たせた。初診の日に診断が付き、手術を承諾し、術前の説明を受けてきた。質疑の記載はなかったが、平易な文でICの要素は網羅されている完備な説明文書(印刷物)をみせてもらった。説明医師の名前も印刷されたものであった。医師の立場からはその理解はまだまだであるが、症状からの解放の喜びもあり、本人は十分納得したという。リスク、術式など補足しておいた。医療倫理の歴史はヒポクラテスの誓いに始まる。患者は保護すべきものは伝えず、パターナリズムがその根底であった。患者の人権に焦点が当たったのは第2次世界大戦後である。戦時の名において非人道的な医学研究、医療行為が行われた反省により、1947年ニュールンベルグ綱領がその嚆矢になる。生体実験の正当性、被験者のオートノミー、インフォームド・コンセントという法理の導入である。1948年国連の世界人権宣言、世界医師会(WMA)の設立とジュネーブ宣言。1964年、1981年WMAのヘルシンキ宣言、リスボン宣言。1973年アメリカ病院協会の「患者の権利の章典」、2003年「治療におけるパトナリズム」へ変更された。その趣旨は人権に對する法整備が進み人権擁護を訴えても医療安全に資することは今のパートナーシップが最重要とされた。患者の人権問題の中心は

- 1 患者本位
- 2 インフォームド・コンセント
- 3 自己決定権である。今や患者は協働者の観点から、IC(説明と同意)はSDM(共有意思決定)へと変わる。ICは説明に重点がおかれ理解、納得、相談、決断の過程が見えない状態が続いた。言った、言わないの争いがいまだに尽きないのである。パートナーシップの観点からSDMと言われ始めたが、ICの意味することは何ら変わらない。ICの中身には次のものが必須である。①病気について ②病気の現状について ③病気の自然経過について ④推奨する治療法について、目的、方法、成果 ⑤治療に伴うリスクについて ⑥その他の治療法、自院で出来ないことも ⑦セカンドオピニオン ⑧質疑。このような説明と質疑の上で家人の意見、環境も含めてデジジョンすることになる。ICからSDMで変わることと言えば患者の意思決定に医療者も同意し責任を持つという意味が加わったと考えて居る。昨今広く求められているACP(人生会議)の作業にも通じるものである。

二条保育園

事業総括

今年度は定員充足からスタート。途中入所の受け入れを保育体制を見ながら増やすことで、歳出の見直しを図った。

保育のさらなる充実を目指して3カ園で話し合い、現場の交流や研修をスタートさせた。

『生き活きとした日常の実現』のひとつ、念願の畑が園内に完成した。



重点項目

- 園内に畑が完成。子どもたちが世話に励み、収穫の喜びを味わった。
- 園児の安全を守るための修繕整備工事を行った。
- 適度の感染防止対策をしながら、コロナ以前の保育に戻した。

〒604-8404 京都市中京区聚楽廻東町7番地
TEL: (075) 841-0139 FAX: (075) 841-6019
URL: <http://www.nijo-hoikuen.sakura.ne.jp>

北野保育園

事業総括

京都社会事業財団3カ園の保育基本理念「一人ひとりの子ども達が現在を生き活きと過ごし、豊かな未来をつくり出す力の芽を育む。」を保育実践として取り組み、園外保育、運動会、生活発表会等の行事、及び遊びの見直しをした。



重点項目

- 職員処遇や労務管理を法人傘下の保育園と社労士を交え、再構築を目指した。
- 子ども達の状況を職員間で共有するための取組を実施した。
- 災害防止の備えを見直し、災害被害時の保育継続の計画の練り直しを勧めた。

〒602-8318 京都市上京区七本松通五辻上ル老松町103-60
TEL: (075) 462-6491 FAX: (075) 462-9128
URL: <https://www.kyoto-kitanohoikuen.jp/>

京都桂川園

事業総括

令和6年度は、報酬改定への対応、新しい管理体制における指揮管理及び職員育成の体制づくり、高齢・障害の一体的運営に努めた。また、法人内の専門家の協力を得、京都市との老朽化対策の検討、高齢・障害の入所施設と協力医療機関との連携、職場環境改善・生産性向上の検討、実効性のあるBCPの策定について取り組んだ。



私たち職員から笑顔をお届け!

重点項目

- 働きがいのある組織づくり(特定技能等受入れ・人事考課試行)
- 経営基盤の充実への取り組み(報酬改定に基づく体制整備)
- サービスの質の向上・維持・確保(入浴環境の検討・マニュアル見直し)
- 災害・感染症等への対応(各種訓練、クラスター対応)
- 地域における公益的な取組の推進(地域交流再開)

〒615-8033 京都市西京区下津林東大般若町32番地
TEL: (075) 391-1675(代) FAX: (075) 391-1640
URL: <https://katsuragawaen.com/>
E-mail: info@katsuragawaen.com

京都厚生園

事業総括

令和6年度は中期事業計画の実現を各事業運営目標として取り組みました。本体老朽化を踏まえ、法人本部、高齢事務センターの協力のもと、改修、事業展開の検討を開始しました。また特定技能職員、外国人留学生の採用育成も開始しました。



みのりの秋、近隣の保育園児と一緒に大根を収穫

重点項目

- 働きがいのある組織づくり(人材確保・職員育成)
- 経営基盤の充実への取り組み
- サービスの質の向上・維持・確保
- 災害・感染症等への対応
- 地域における公益的な取り組みの推進

〒615-8256 京都市西京区山田平尾町46番地
TEL: (075) 391-7870 FAX: (075) 392-0191
URL: <http://www.kyotokouseien.com/>
E-mail: kswf@kyotokouseien.com

松陽児童館

事業総括

「おかえりなさいが待っている☆松陽児童館」を目標に児童館に関わっていただいた全ての方がいくつになっても帰りたくなる温かい児童館を目指しました。地域の子どもたちの健やかな育ちを援助する活動と子育て家庭の支援に努めました。利用者数増加が続くため安心安全を確保できるよう今後も環境整備に努めます。



重点項目

- 子育て支援
- 遊びを通じた子どもたちの健全育成
- 地域との連携
- 職員研修

〒615-8256 京都市西京区山田平尾町51-28
TEL: (075) 392-6311 FAX: (075) 392-6312
URL: <http://www.kyo-yancha.ne.jp/syouyou/index.html>
E-mail: syouyou@kyo-yancha.ne.jp

昭和保育園

事業総括

多くの子育て世帯に保育園を利用できるよう、こども誰でも通園制度事業を試行的に開始しました。秋にはマルシェ(しょうわワクワク広場)を開催、卒園生や保護者や近所の方が出店をし、東山地域の交流が深まりました。また、働きやすい職場環境を目指し、勤務時間の見直しを行いました。



重点項目

- 園庭で育った野菜に注目した食育活動
- 地域子育て支援ステーションでは、保育園生活を疑似体験
- 若手職員を中心に、ベテランが支えるクラス編成
- 大雨や猛暑から園児を守る災害用品の整備

〒605-0994 京都市東山区鞘町七条下ル一橋宮ノ内町15-4
TEL: (075) 561-0091 FAX: (075) 561-0743
URL: <https://www.showahoikuen.net>
E-mail: showa.renga@showahoikuen.net

ライフ・イン京都

事業総括

令和6年度は、コロナや物価高騰により苦労したことも多く、環境改善という面では課題の残る結果となりました。しかし、縮小傾向となっていた行催事の再開やレストランのメニューの見直しなど積極的に改善を図り、全体として「選ばれる老舗のホームを目指す」という目標に向かってしっかり取り組むことができた一年でした。



五山の送り火の夕べに集う外国籍職員

重点項目

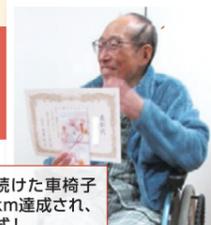
- 働きがいのある組織づくり
- 居室及び共用部の整備
- 行催事の充実
- 災害及び感染症への対応

〒615-8256 京都市西京区山田平尾町46-2
TEL: (075) 381-1870 FAX: (075) 381-1899
URL: <https://lifeinkyoto.or.jp>
E-mail: kswf@lifeinkyoto.or.jp

にしがも舟山庵

事業総括

入居者が楽しみや希望のもてる暮らしのサポートを進めた。令和6年度から始動の協力医療機関施設連携会議での情報及び意見交換は、入居者が安心して医療を受けられる事や望む暮らしを送るための介護医療連携につながった。見守り支援システムの全室導入、音声入力ソフトの導入等ICTの基盤整備、多職種協働での新たな加算取得を進め、未来につながる支援体制を整えた。以上、令和6年度は「あたたかさのある組織をつくる」という組織目標のスタートをきることができた。



こつこつと続けた車椅子自走で200km達成され、笑顔の表彰式!

重点項目

- 入居者の楽しみや希望、安心感のもてる暮らしの追求
- 職員が自らのスキルを活かせ、居場所がある職場づくり
- 地域とのつながりづくり

〒603-8471 京都市北区大宮西山ノ前町3-1
TEL: (075) 495-1121 FAX: (075) 495-1161
URL: <https://funayamaan.com/>
E-mail: funayamaan@room.ocn.ne.jp

保育園の現場より



こんにちは。

今年度より、二条保育園名誉園長の澤村先生から児童施設職務担当責任者のバトンを受け継ぐことになりました。どうぞよろしくお願いいたします。

私は、一昨年4月に昭和保育園の園長に赴任しました。それまで法人本部事務局員として現場の様子を見ておりましたが、これからは、自分も保育園の仕事に携われると思うと胸が高鳴りました。



社会福祉法人 京都社会事業財団
理事 筋 裕一
(昭和保育園 園長)

いざ、保育園が始まると入園式でお祝いの挨拶の仕事が待っていました。元々あがり症の私にはこれが難関でした。予行練習もしましたが、本番では声が裏返ってしまい、周りも何だか重苦しい雰囲気になってしまいました。ところが、在園生の年長組が入場してお祝いの歌を披露すると、会場の雰囲気が一気に和み、周りが笑い声に包まれました。以前、澤村先生が「保育園では最後は子どもたちが助けてくれますよ」とおっしゃった意味が、着任早々に理解することが出来ました。

その後は、経験豊富で優秀な職員に助けられ、保護者の方々のご理解を賜り、現場の様子が少しずつ理解できるようになりました。子どもの些細な問題行動を目にした時、そこに至る原因が根深く、対応が一筋縄ではいかないことがあります。子どもたちの不安や悩みに寄り添いながら、常に何が出来るかを職員と一緒に考えていけたらと思っています。

当法人の児童施設は、北野、二条、昭和の3保育園の他、児童養護施設つばさ園、児童心理治療施設ももの木学園、そして松陽児童館があります。これからも6つの施設が力を合わせて、子どもたちの豊かな未来が創造できる様に連携を深めて参ります。また、私が長年勤めた京都桂病院にはよく相談事でお邪魔をしますが、職員の方々が変わらぬ笑顔で迎えてくださるので、懐かしく温かい気持ちになります。当法人の施設は、医療、介護、児童と対象は違っても、困っている人に手を差し伸べるという同じ使命を持っています。私も一員でいられる事に誇りを感じております。これからも、その使命を果たせるよう微力ながら頑張る参ります。



今後ともご指導を賜ります様、
よろしくお願い申し上げます。



追伸

最近、東山七条には京町屋を改装したお洒落な店が立ち並んでいます。ご観光の折には、ぜひ昭和保育園にもお立ち寄りください。

令和6年度 各施設の 事業報告

ももの木学園

事業総括

入所児童の複雑な状態像について、医学的・心理学的な評価も加えながら、生活支援を継続しています。つばさ園、京都市と検討を重ね、令和7年4月から入所定数を30名に減じました。開設当時から念願であった、入所児童の教育を保障するための「ももの木教室」が、令和7年5月に開設されました。



- 重点項目
- 1 医療を含む関係機関との密な連携を続け、事業を継続する
 - 2 事例検討に加えて、日々の実践を振り返る研修を継続的に行い、人材育成を図る
 - 3 小・中学校、教育委員会、児童相談所と連携して、ももの木教室の利用を進める

〒615-8256 京都市西京区山田平尾町51-28
TEL: (075) 381-3699 FAX: (075) 393-4316
E-mail: momonoki@sage.ocn.ne.jp

つばさ園

事業総括

社会的養育推進計画後期の計画策定に関して、施設長会で京都市と意見交換会（4回）や、こども家庭庁の方の研修会等開催しました。園内では複数の施設見学に行きました。そんな中で“つばさ方式”をさらに深め虐待児の対応をすすめる、一方で自立支援充実のために、「児童自立生活援助事業」を立ち上げることにしました。



- 重点項目
- 1 都道府県社会的養育推進計画の検討
 - 2 虐待児童への支援
 - 3 自立支援
 - 4 里親推進
 - 5 地域小規模児童養護施設の支援の充実

〒615-8256 京都市西京区山田平尾町51-28
TEL: (075) 381-3650 FAX: (075) 393-4316
E-mail: tsubasa@rondo.ocn.ne.jp

法人本部事務局より

ホームページについて

当法人のホームページでは各施設が地域で提供している公益的な取り組み等を紹介しています。
また、こんな記事を読みたい・載せてほしいなどご要望もお待ちしております。



URL <https://kyoto-swf.com>

ひだまり保育園 病児保育について

保護者が当法人施設にお勤めであればご利用いただけます。
【対象】生後3カ月～小学校就学まで
【定員】1名(先着順)※連続2日間申し込み可
【料金】1,320円(食事、おやつ、寝具、おむつ等込み)
【受付】前日17:00までにお電話にて
※当日は京都桂病院 小児科の受診が必要です。



セカンドキャリアについて

当法人本部事務局では、定年後の「セカンドキャリア」として、法人内各施設でどのような働き方ができるかを紹介させていただいております。
ご遠慮なくご相談ください。



法人職員目安箱(投書箱)の案内について

法人職員皆さまからの職場での悩み事やご意見、不法行為等の報告を受付けています。
なお、投書は無記名でも大丈夫ですが、連絡先・氏名等をご記入いただければお返事させていただきます。



URL <https://docs.google.com/forms/d/1wi4i5tbz4cqrSNF0F4nHfZy72ntC3zvNdL9fJJu5DxU/edit>

お問合せ・お申込み TEL (075) 392-2506 (直通)